

LGBTQ 等への取り組みを評価する「PRIDE 指標 2022」において

4年連続で最高評価の「ゴールド」を取得

三洋化成工業株式会社
(証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社(本社:京都市東山区、代表取締役社長:樋口章憲)は、性的マイノリティである LGBTQ^{*1} 等に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2022」^{**2} において、4年連続で最高評価の「ゴールド」を取得しました。



当社では、従業員一人ひとりが高いモチベーションのもと、常に新しいことに挑戦し、“ワクワクする会社”を作り上げることで、さらなる企業価値の向上を目指しています。そのため、これまで築き上げてきた土台を基礎として、すべての従業員が自分らしさを大切にしながら、安心して働きやすい企業を目指し、働き方改革や、人材の多様化と、すべての人権や多様な価値観を尊重して受け入れ活躍してもらう職場環境の実現に向けたダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン^{**3}に関する取り組みを進めています。その一つとして、2018年から性的マイノリティである LGBTQ に関する取り組みを開始し、さまざまな活動を積極的に進めてきたことが評価され、「PRIDE 指標 2022」においても最高評価の「ゴールド」を受賞することができました。当社は引き続き LGBTQ に関する取り組みを充実させ、多様な価値観を尊重するだれもが働きやすい職場づくりを推進していきます。

※1 L(レズビアン=女性同性愛者)、G(ゲイ=男性同性愛者)、B(バイセクシャル=両性愛者)、T(トランスジェンダー=性自認が出生時に割り当てられた性別とは異なる人)、Q(クエスチョニング、クィア=性自認や性的指向が定まっていない、定めていない人)の頭文字

※2 PRIDE 指標は、企業等における LGBTQ 等に関する取り組みを評価する指標として、LGBTQ 等に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体「work with Pride(以下:wwP)」によって2016年に策定されました。優れた取り組みを行っている企業を表彰し、具体的な方法を社会に広めることで LGBTQ 等の性的少数者が働きやすい職場づくりの促進と定着を目的としたものです。

「PRIDE 指標 2021」は、Policy(行動宣言)、Representation(当事者コミュニティ)、Inspiration(啓発活動)、Development(人事制度・プログラム)、Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)

の5項目について採点し、「ゴールド」、「シルバー」「ブロンズ」の三段階で評価されます。2021年より、達成度が高く、項目数が多い「P: Policy 行動宣言」「I: Inspiration 啓発活動」と「D: Development 人事制度・プログラム」の加点方法がより厳しく見直されました。

※3 ダイバーシティ(Diversity:多様性)、エクイティ(Equity:公平性)&インクルージョン(Inclusion:受容)

❖参考

<三洋化成の従業員が働きやすい環境整備の取り組み>

詳細はこちら

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの取り組みについて

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/company/diversityandinclusion>

働き方改革の取り組みについて https://www.sanyo-chemical.co.jp/company/work_style

健康経営の取り組みについて <https://www.sanyo-chemical.co.jp/company/kenko-keiei>

【ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの推進】

<ダイバーシティ月間の創設>

- ・人権週間(毎年12/4-10)に合わせ、毎年12月を『ダイバーシティ月間』と制定し、多様性に対する意識改革を目的に各種イベントを実施

<育児との両立支援制度の拡充>

- ・両立支援ハンドブック作成
- ・育児休業からの復職者支援(休業前後の面談、セミナー開催)
- ・男性の育児休業取得推進
- ・ベビーシッター費用補助制度
- ・病児保育費用補助制度
- ・「イクボス企業同盟」に加盟
- ・2007年には京都府で初めて厚生労働省より「くるみん」認定
2017年8月1日には「プラチナくるみん」認定
(「プラチナくるみん」は「子育てサポート企業」として「くるみん」の認定を受けた企業のうち、より高い水準の取り組みを行なった企業が受けられるものです。)

次世代認定(くるみん)マークを
2007年に京都府で初めて取得



2017年8月1日
「プラチナくるみん」認定



<LGBTQに関する取り組み>

- ・社内規定・制度や福利厚生の見直し
- ・社内外相談窓口の設置
- ・レインボープライドパレード(東京、名古屋、京都、大阪、九州)への参加

- ・だれでもトイレの設置
- ・LGBTQ の理解促進（勉強会・映画鑑賞&トークセッションを国内の全事業所で開催、LGBTQ 当事者で LGBTQ に関する啓発活動を行っている YouTuber のかずえちゃんを当社の一員に迎え、社内風土改革を加速）
- ・2019 年から 4 年連続で性的マイノリティであるLGBTQ 等に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」において最高評価の「ゴールド」を受賞



- ・ハラスメント防止セミナーの実施
- ・婚姻への平等「Business for Marriage Equality」に賛同
- ・LGBTQ フレンドリーであることを容易に表明できる ALLY グッズの作成、配布
- ・高校、大学への出張授業

<女性活躍推進>

- ・社内外の研修参加や交流会実施
- ・経営トップや女性社外取締役との交流会実施
- ・旧姓使用制度導入
- ・計画的な人材育成計画・配置
- ・コース制度の見直し(一般職を廃止)
- ・大阪大学との「阪大方式産学共創教育事業」に参画
- ・経団連「女性の役員・管理職登用等に関する自主行動計画」公表
- ・経団連 2030 年までに女性役員比率 30%を目標とする「2030 年 30%へのチャレンジ」に賛同
- ・内閣府男女共同参画局が支援する「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」の行動宣言に賛同

ー「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言ホームページ

http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders/index.html



- ・2022 年 3 月に女性活躍推進法に基づく優良企業として、「えるぼし」の 3 つ星(最高位)認定を取得



<介護との両立支援制度の拡充>

- ・介護休業制度の拡充
- ・介護勤務軽減・深夜業務免除制度導入

【働き方改革】

- ・在宅勤務制度の導入開始(2019 年 4 月より)
- ・失効有給休暇積立制度の拡充(2019 年 3 月より)
- ・スーパーフレックスタイム制の導入(2015 年1月から随時適用拡大)

- ・時間単位有給休暇制度導入(2016年9月より)
- ・フレキシブル休職制度の導入(2019年11月より)
- ・服装の自由化
- ・コミュニケーションシステムの刷新
- ・仮想デスクトップサービス VCC 導入
- ・RPA(Robotic Process Automation)導入
- ・ペーパーレス会議
- ・BIシステム導入
- ・モバイルワークオフィス活用
- ・イントラネットを通して社長・役員に直接提案できるe-POST制度の導入
- ・「働き方改革」に積極的に取り組んでいる企業として、2016年11月に京都労働局より京都府におけるベストプラクティス企業の第一号に認定

【健康経営への取り組み】

「健康経営宣言」を行い、健康経営に取り組み、従業員の健康維持増進を会社が推進

- ・組織体制の整備
- ・健康相談室、健康保険組合、労働組合の三位一体の取り組み
- ・運動、食事、睡眠、禁煙、飲酒の5項目について各職場に合う取り組みを開始
- ・健康情報管理システム(HSS:ヘルスサポートシステム)を導入(2019年より)
- ・健康通信の配信
- ・産業保健スタッフのフォローによる特定保健指導実施率の向上(2019年より)
- ・新型コロナウイルス感染症対策の周知・指示(2020年2月より)
- ・健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人として4年連続で「健康経営優良法人」に認定



<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社

経営企画本部 広報部

電話 075-541-4312

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>